

2026年ルートインBCリーグ公式戦ルール

2026.03.13

【タイブレーク】

- (1) 9回を終えて同点の場合、以降表裏同じシチュエーションで1イニングずつ攻撃を行い、得点数は9回までの得点を含めた総得点差で勝敗を決定する。
- (2) シチュエーションについては、0アウト走者一・二塁とする。
- (3) 打撃順は9回からの継続打順とし、イニング数は1イニング限定で行う。
- (4) 成績は全て個人通算成績に加算する。
- (5) 本ルールは、7イニング制ダブルヘッダーの試合においては適用しない。

【得点差コールド】

- (1) 7回10点差以上、もしくは8回8点差以上の点差が開き、且つ当該イニングの表裏が成立した場合、その時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (2) 7回表終了時点で10点差以上、もしくは8回表終了時点で8点差以上の得点差が開き、且つ後攻のチームがリードしている場合、裏の攻撃は行わずその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (3) 7回で後攻のチームが攻撃中に10点差以上、もしくは8回で後攻のチームが攻撃中に8点差以上の点差をつけた場合は、第3アウトが成立していなくてもその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (4) 7イニング制の試合の場合、5回もしくは6回で10点差以上の得点差が開き、且つ当該イニングの表裏が成立した場合、その時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (5) 7イニング制の試合の場合、5回表もしくは6回表終了時点で10点差以上の得点差が開き、且つ後攻のチームがリードしている場合、裏の攻撃は行わずその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (6) 7イニング制の試合の場合、5回もしくは6回で後攻のチームが攻撃中に10点差以上の点差をつけた場合は、第3アウトが成立していなくてもその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (7) 本ルールは、チャンピオンシップにおいては適用しない。

【ノーゲーム】

- (1) サスペンデッドゲームは採用しない。
- (2) 試合中に雨天等によって試合が中断された場合、ゲーム続行の可否は責任審判員が判断する。
- (3) 試合成立前にゲーム続行が不可となった場合は、ノーゲームとして振替試合を行う。
- (4) 試合は5回終了をもって成立とする。(公認野球規則 7.01)

【指名打者】

指名打者制（DH制）を採用する。

【牽制】

- (1) 牽制及び投手板を外す行為の全て（以下、牽制等）は、打者 1 打席につき、2 度目までは制限を設けない。3 度目に塁上の走者をアウトにできなければ《ボーク》を適用する。
- (2) 走者の状況が変わった際は、牽制等の回数をリセットする。

【予告先発】

- (1) 予告先発を採用する。発表は試合前日の午後 3 時とする。
- (2) 発表後は原則として変更できない。ただし、発表日の試合が雨天中止またはノーゲームとなった場合はこの限りではない。
- (3) 止むを得ない理由で発表後に変更された投手は、その日を含む 3 試合に出場することはできない。

【選手契約・出場選手】

- (1) 各球団が契約できる選手は 27 名を上限とする。
- (2) 公式戦の出場選手登録ができる選手は 27 名を上限とする。
- (3) 一度登録を抹消された選手の登録は、抹消日から 6 日間経過した以降でないと認められない。
- (4) 公式戦において同時に出場できる元プロ野球選手と外国籍選手数の定めはないものとする。
- (5) 球団が保有する選手の年齢制限は、26 歳年度のシーズンまでとする。ただし、球団は 27 歳以上の選手を 6 名まで保有することができる。

【規定打席・規定投球回】

- (1) 規定打席は、所属球団の試合数×2.7 打席とする。
- (2) 規定投球回は、所属球団の試合数×0.8 回とする。

【優勝決定方法】

- (1) 各地区の優勝は公式戦の勝率により決定する。勝率は下記の算式により算出する。
勝率＝勝利数÷（勝利数＋敗戦数）
勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝とする。
①当該カードの対戦成績 ②当該カードの得失点差 ③総得失点差 ④総得点数 ⑤抽選
- (2) 公式戦終了後、BC リーグチャンピオンシップを開催し、リーグ優勝球団を決定する。

【熱中症対策】

- (1) 6 月 1 日～8 月 31 日において各球場にて試合開始 1 時間前に WBGT を計測し、暑さ指数が 31℃を超えた場合、当該試合は 7 イニング制とする。
- (2) 17 時以降に開始となる試合については、イニングの制限をしないこととする。

以上